

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会
公募型プロポーザルの選定結果（答申）

令和8年5月12日

大津市長 佐藤 健司 様

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会
委員長 宗田 好史

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会規則第2条の規定に基づき、次のとおり答申します。

1 応募者 (参加資格審査の申込順)

登録確認コード	企画提案者名
A	株式会社佐藤総合計画 関西オフィス
B	株式会社日建設計 大阪オフィス

2 選定結果 (得点順)

順位	企画提案者名	企画提案 得点	提案価格 (税込)	選定理由 (審査公表)
1 最優秀提案者 (受注候補者)	株式会社佐藤総合計画 関西オフィス	762 /1,080 点	841,500 千円	3最優秀提案者の 選定理由（講評） のとおり
2 次点者 (次点受注候補者)	株式会社日建設計 大阪オフィス			

※提案価格は、企画提案書提出時点の額であり、今後契約を締結する際の契約金額とは異なる場合があります。

※大津市プロポーザル方式の実施に関するガイドラインに従い、落選した事業者の競争上の地位に配慮するとともに、より多くの提案を募り競争性を向上させるという趣旨から、応募が2者の場合に限り、評価点の公表は最優秀提案者のみとします。

3 最優秀提案者の選定理由（講評）

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会における最優秀提案者の選定理由は、以下のとおりです。

この度、提出書類による審査及び公開プレゼンテーション審査における説明・質疑応答等を総合的に評価し、これまでの審査過程を通じて厳正に審査した結果、本プロポーザルにおける最優秀提案者としてA者を選定しました。

A者の提案は、これまでの市民ワークショップ等を通じて寄せられた多様な意見を丁寧に受け止め、今後も市民の皆様との協働による施設づくりに向けて柔軟な対応が期待できる点が特に高く評価されました。

また、基本計画における検討内容を十分に理解した上で、現実的な視点に立ったコスト意識や市民サービスのあり方に対して細やかな配慮がなされている点に加え、質疑応答においても、提案内容の前提や今後の検討プロセスを含め、誠実かつ具体的な回答が得られたことから、事業を着実に推進する設計者としての信頼感が高まりました。

さらに、建物内部空間の利便性や、防災拠点としての機能、フェーズフリー・復旧復興といった防災への配慮、将来の変化に対応しうる拡張性など、多角的な視点から検討されている点が評価されました。

一方で、A者の提案には、市民デッキや緑化の考え方等について、「未完成である」や「余地を残している」という評価もありました。これは、完成形を一方的に提示するのではなく、市民や職員との対話を通じて共に創り上げていくことを前提とした姿勢の表れである一方、今後の具体的な設計において、積極的に市民を巻き込み、イメージを具現化していくプロセスが不可欠であることを示唆しています。今後、デッキの素材や規模、緑化の維持管理方法、バリアフリー、職員の働く環境、セキュリティ面での検討や市民ワークショップで出た意見を設計にどう反映させるかなど、検討を深めるべき課題は少なくありませんが、これらの課題に対して、市と伴走しながら柔軟に取り組んでいただけることを期待しています。

市民の皆様と共に創り上げていく庁舎として、本提案は今後の展開に高い発展性を有しており、市庁舎整備とまちづくりが一体となった新たな交流拠点の実現に向けて、A者との設計協議が実りあるものとなることを大いに期待します。

4 意見

大津市新庁舎整備基本設計・実施設計事業者選定委員会における企画提案者に対する意見は、以下のとおりです。

本プロポーザルにおいては、A者、B者の両者から、本市への深い理解と、未来に向けたまちづくりを見据えた意欲的かつ質の高い提案が寄せられました。いずれの提案も、高度な技術力と豊富な経験に裏付けられたものであり、委員会としても最終的な評価にあたっては慎重な議論が重ねられました。

A者の提案は、市民ワークショップで示された様々な意見を丁寧を受け止め、コスト意識や市民サービスのあり方といった現実的な視点を踏まえながら、市民や職員との対話を重ねつつ計画を具体化していく柔軟な姿勢が評価されました。特に、内部空間の利用イメージや災害時の対応についても一定の具体性が提示され、堅実かつ着実な事業推進が期待できる点が信頼につながりました。一方、その堅実さが、市民との協働において懸念点となりうることから、今後の設計段階においては、市民をどのように巻き込み、期待感を高めていくかが重要なテーマとなります。

B者の提案は、大階段や吹き抜け空間など、建築物としての魅力と先進性に富み、未来志向のデザインや環境・生態系への配慮など、市役所の新たな可能性を感じさせる意欲的な内容でした。夢とワクワク感に満ちた提案は、市民にも強い印象を与えるものであり、本市の将来像を広げる示唆に富むものであったと評価できます。一方で、質疑応答において、これからの検討に委ねる部分が多く、提示された壮大なビジョンを、コスト、機能性、安全性とどのように両立させ、現実の計画として具現化していくかが大きな課題として残りました。特に、大階段や吹き抜けの実現性、セキュリティ、バリアフリーへの対応などについては、再検討も必要であると判断されました。

両者の異なるアプローチは、今後の市庁舎のあり方やまちづくりの方向性について多くの示唆を与えてくれました。その中で本選定委員会は、基本計画との整合性や実現性、市民目線に立った堅実な事業推進の重要性を重視し、総合的な判断としてA者を最優秀提案者に選定するに至りました。

最後に、本件公募の実施に当たり、大変多忙な中、応募いただいた2者の関係者には、敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げます。